

一般質問

町政を問う

今回3名が質問し、
その要約を掲載しました。

藤 咲 芙美子 議員 …………… 12

1. おくやみ専用窓口の設置を
2. 水戸ホーリーホックからの800万円の納入扱いについて
3. ホロルの湯への事業委託について

桜 井 和 子 議員 …………… 13

1. 避難所対策について
2. 避難道路設置について
3. 子宮頸がんワクチン接種の情報提供について

河原井 大 介 議員 …………… 14

1. 空き家対策について
2. 青山増圧場と石塚浄水場の今後について
3. 道の駅かつら移転について
4. 一般財団法人城里町開発公社について



☐次ページからの、顔写真下のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、一般質問時の動画が視聴できます。



🌸「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の寄稿によるものです。

おくやみ専用窓口の設置を



藤咲 芙美子 議員

《町長》 県内でも対応している。今後の課題とする



藤咲 家族がなくなって深い喪失感に包まれている家族は、死亡届の後様々な手続きに各課を回り、精神的、時間的負担が生じている。このような負担を解消するため一か所で済ませられる専用窓口の設置、を求め

町長 現在死亡届があった際に必要な手続きを記載した一覧を渡している。県内でいくつかの市町村で指摘のような対応をしていると伺っている。今後の課題として検討する。

水戸ホーリーホックからの800万円の納入扱いについて

《町長》

良好な状態に芝を管理するのは、適正な業務

藤咲 町民センターのグラウンドは町の所有であり、ホーリーホックからの800万円は町に入金されるべきだ。

地方自治法第210条は「会計年度における一切の収入、支出は全てこれを歳入歳出に編入しなければならぬ」と記されている。

開発公社の収益が、町民センター設置と管理に関する条例第11条及び城里町使用料手数料条例に基づき手数料として定められている。法令に基づき適正に処理されるべきである。



町民センターグラウンドの芝の管理

町長 開発公社がホーリーホックからの800万円の使用料と、町から得た指定管理料を合わせて芝生の維持管理業者に支払いを行い、良好な状態に芝を管理するのは、適正な業務だ。

藤咲 地方自治法第210条に違反している。

町長 グラウンドの利用者が払う使用料を、町が取ってしまつたら開発公社として収支が取れなくなってしまう。

ホロルの湯への事業委託について

《町長》

非営利の赤字になる事業だ

藤咲 ホロルの湯の赤字解消を理由に、グリーンツアーズムや介護予防事業など、町の重要な施策などを開発公社に委託することに違和感を持つ。是正を求め

町長 赤字解消の事業と赤字になる事業は全く逆の意味。

藤咲 町の財源をホロルの湯につき込んでいくが、その結果、職員の給料が引き上がっただけで、非正規職員の人たちは引き下げられている。





さくらい かずこ
桜井 和子 議員

避難所対策について



《町長》 避難所内の過密状態を避ける



桜井 昨年と同様規模の台風がまた来ると予想した場合に、今までと同じ数の避難所体制で大丈夫か。

町長 避難所内の過密状態を避けるため、より多くの避難スペースを確保し、感染リスクを低減する取組を進める。

又、親戚や友人の家等でも安全な場所がある場合は、そこに避難するのも「避難のあり方」である事を啓発していく。

桜井 高齢者や妊婦・障害のある方に配慮したスペースがあるのか。

町長 高齢者などに、配慮するための部屋を設けるよう努力する。ふれあいの里の宿泊設備なども開放し、要配慮の方が家族単位で避難できるような提供していきたい。

桜井 避難された方が発熱した場合、どのように対応するのか。

町長 対象者を特定の部屋に隔離する。防災部門と福祉部門連係の下、中央保健所などの専門機関に相談し対応する。

桜井 万が一停電が発生した場合の対応は。

町長 発電機11基保有している。東京電力と停電の早期復旧や、情報共有の連携に向けて協議している。



桜井 避難所用間仕切り、折り畳みベットの発注は済んでいるのか。納入はいつ頃になるのか。

町長 入札を行っている。落札まで終わっていない。落札業者と手続きを進めている。

総務課長 発注が多いため、納期は決まっていない。

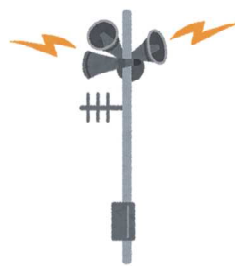
桜井 職員による避難所の設営訓練の予定はあるのか。

町長 9月17日に行う。

避難道路設置について

《町長》 避難情報の伝達手段を整備する

桜井 那珂西梅の杜自治会（法幢院坂下）の方から、避難道路設置の要望が出ているが可能か。



町長 町として、適切なタイミングでの避難情報の伝達手段を整備する。（避難道路設置についての答弁なし）

子宮頸がんワクチン接種の情報提供について

《町長》 情報提供を検討

桜井 接種対象者やその家族に対して、接種するかどうかを検討判断できるように、町から正しい情報提供が個別に通知されているか。

町長 ホームページや広報で必要な情報を提供できるように、今後検討する。



空き家対策について



かわらい だいすけ 河原井 大介 議員

《町長》 利活用できない空き家の除去に取り組んでいく



河原井 平成28年度での調査で、町内の空き家は192軒で、その内危険空き家が50軒と調査報告書にあるが、町民が安心して暮らせるまぢづくりのために、現在この空き家対策への状況は。

町長 空き家対策については空き家バンクにおいて4件の売買等が成立し、活用につなげた。今後も、利活用できない空き家の除去にも取り組んで行く。

青山増圧場と石塚浄水場の今後について

《町長》

青山増圧場は、来年度給水計画を策定する

河原井 青山増圧場（上下青山、勝見沢、春園 小坂地区）の許容範囲が小さく、お盆、お正月や夕方

に配水できないと聞か、状況と対応は。

町長 建築から25年が経過し、ポンプ等の機械設備の老朽化による機能低下がある。

河原井 増圧場の改修はやるのか。町民の住環境改善を全力でやってほしい。

町長 今後の対応としては、令和3年度に、青山増圧場の配水エリアの調査を行い配水池と排水ポンプを設置し、給水計画を策定後、施設建設に着手し、安定的な給水体制を整え

る予定だ。石塚浄水場は昭和44年より稼働しており、施設の老朽化に伴いメンテナンスが絶えない状態。令和2年度は、約1億5,000万円かけて排水ポンプの改修工事と沈澱池の修繕工事を行っている。

道の駅かつら移転について

《町長》

新たなあり方、移転先は、住民の声をすくいあげたい

河原井 道の駅の移転については、移転整備計画検討委員会も立ち上がったがい状態だが、地域に愛されている道の駅なので、地域の方や現場の声を聞きながら基本構想や計画を立てるべきである。町長のトップダウンではなく、民主的なシステムで行うことが望ましいが。

町長 道の駅かつらの新たなあり方、移転先も考えた上で、農家、住民の声をすくいあげたい。

一般財団法人城里町開発公社について

《町長》

健康増進事業を充実化させていきたい

河原井 開発公社へ一般会計からいくらか持ち出しているのか。さらには、公社の今後について。

まちづくり戦略課長 町の一般会計からは約1億円支出している。

町長 ホロルの湯、ふれあいの里で



の健康増進事業を充実化させ、医療費の削減や介護の予防に取り組むたい。